



寺田直子さん

トラベルジャーナリスト。80カ国以上もの海外を訪れ、旅の魅力を発信し続ける。新聞や雑誌、WEBで紀行文、旅情報を作成。著書『泣くために旅に出よう』(実業之日本社)など多数。

の情報は日本語だから安心ですね。
寺 気をつけていると、自然と自分自身の行動も変わってきます。

古 心持ちひとつで、自分の想像力も広がっていくんです。あそこが危険ならここも危ないかな、この通りは避けた方がいいぞ、とか。寺 そうね。日本人って相変わらずお金持ちに見られるし、スマートフォンを路上でいじつてるだけ

で危険なときも。私は汚れたエコバッグを愛用しています。それを持ち歩きながら、場所によっては憂鬱そうな顔で歩くの(笑)。

古 そう、表情も大事!(笑)あとSNSへの投稿目的で無謀な旅をする人もいて、最近はそれが少し不安かな。女性は腕力が弱いから、いつそう注意を払わないといけれど、それはまた違うのよ。

古 そう、旅って絶対に楽しいし、人生には必要なこと!!

寺 「たびレジ」もバス・ボートと一緒に、と思えばいいんです。
古 もともと、旅に出るために必要なものなんだって。

寺 美味しくないと評判のお店を避けるのと一緒に、「ここへは行かない」という情報を持つて出かけるべき。そこでこそ賢いトラベラージやないですか?

古 そう、まさにその通り!

寺 実際、旅慣れている人の方が「たびレジ」を活用しているし、その都度、海外旅行保険もきちんと入っている。そういう基本ができるこそ、旅の上級者だと思います。

古 安全と言い切れる旅はひとつもないですから。「たびレジ」で現地情報を得て、素敵な景色や人、文化に触れてほしいですね。

現地情報が分かる 「たびレジ」で賢い旅

「たびレジ」とは大使館などから届く現地の災害や事件など最新の安全情報を、日本語で発信する外務省のメール配信サービス。無料で情報が配信されるので旅行者には大きなメリットだ。個人旅行には大変心強い。まずホームページ www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/ にアクセス。旅行者のメールアドレスを入力後、氏名や滞在国などを入力。家族や友人、勤務先などのメールアドレスも最大10件まで登録でき、同じ現地情報が届けられる。「たびレジ」本登録後に手に入る「旅のしおり」は、旅程の管理にも役立つ。また旅の予定がなくても、「简易登録」で気になる国の情報を得ることも。その国の情勢をうかがい知るのに便利だ。

●お問い合わせ先／外務省領事局政策課
☎03-5501-8000（内線5370） www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/



“安心”が導く愉しみがある 旅の達人の新常識

「旅する喜びを伝えること」。これを天職として世界を渡り歩くお二人に臆することなく出かけられる、その訳を語っていただいた。

Text: Rie Tanaka Photo: Asami Enomoto (portrait), Naoko Terada (p.137)



古関千恵子さん

ビーチライター。マリンスポーツ誌の編集者を経て独立。月1~2回、海外を中心にビーチを巡る。リゾートやダイビング、環境について、女性誌やWEBなどに多数、寄稿。

「リゾート先進国モルディブ。タージ・エキゾティカリゾート&スパは洋上ガゼボなどロマンティックな雰囲気が素敵」(古関さん)